

NPO法人 Poco a Poco 平成26年度事業報告

1. 事業の成果

東松山市石橋での活動も2年目をむかえ、出向いて下さるお客様の数が格段に増えてきており、あんだんての存在が着実に認知され浸透してきていることを実感している。

定員20名に対する年間通所率は86.9%、一日平均17.4人であったが、規則正しい生活のリズムを身に付け、自己管理が出来るよう支援を行ってきた。

就労支援会計では、今年度は障害者優先調達推進法という追い風にも恵まれ、東松山施政60周年の記念品1300個や東松山市社会福祉協議会40周年の記念品446個の特需があったり、近隣の市町村からも沢山の注文をいただいた。委託販売先のとときがわ町建具会館では、小物を中心とした定番商品の売れ行きが四季を問わず好調である。また、業者による特注品や多量の買い付けは売上高増加に貢献しており、一方でお客様が直接あんだんてにお見えになって、楽しそうに買って行かれるケースが確実に増えている。売上高ベースで前年度162%増、今年度143%増、工賃支払高ベースで前年度163%増、今年度151%増となった。しかしながら時給に換算すると平均220円台で埼玉県最低賃金802円の三分の一にも満たない現実が存在する。

就労状況は、企業実習が2名で今年度中の就職には間に合わなかったが、東松山ハローワークや各就労支援センターと連携を取りながら就労支援を行った。また、年間を通し定例家族会を開催し、面談、電話、家庭訪問、関連機関とのチーム連携等、個々の案件に応じた方法で対応した。

特定指定相談支援事業については、諸般の事情により実施しなかった。

啓発活動事業については、2月16日に医療法人社団心翠会理事長 登戸診療所院長 精神科医飯田茂先生をお招きして、二つの事例をテーマにご講演頂いた。

地域社会においては、民生委員や人権擁護委員の皆様がたとの交流を深め、引きこもりや表面化しない障害者についての情報交換をしたり、利用者とともに作業を行いながら障害に関する差別や偏見をなくし、自立と社会参加を考える機会を作った。夏休みには子供工作教室を開催し、利用者が先生になってノーマライゼーションを地で行く楽しい一日を過ごした。

2. 特定非営利活動に係る事業報告（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

定款の 事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者 人数	受益対象者の範囲 及び人数	支出額 (千円)
障害福祉サー ビス事業	就労継続支援 B型事業	毎週5日 9:00～16:00	当法人の 施設	常勤・パート 職員5名	支援登録障害者 20名	24,638
啓発活動事業	こころの健康講座	年・1回 2月17日	当法人の 施設	常勤・パート 職員5名	支援登録障害者・家族・ 一般市民31名	64
啓発活動事業	夏休み工作教室	年・1回 8月19日	当法人の 施設	常勤・パート 職員5名	支援登録障害者・ 社協・小学生42名	8